

令和4年度 第1回 国民健康保険運営協議会 議事概要

- 1 日時 令和4年10月12日(水) (開会) 午後1時30分
- 2 場所 知立市中央公民館 2階第1・2展示室
- 3 出席委員(11名)
公益代表 竹本 有基 田中 寛孝 野村 茂弘 清水 辰夫
医療機関代表 宮本 史生 近藤 由幸 塚本 幸夫
被保険者代表 河村 京子 鈴木 民樹 荻部 美恵 松井 敬一

欠席委員(1名)

医療機関代表 神谷 雅人

4 事務局

保健健康部長 市川 敏一(欠席)
国保医療課長 河合 圭太
国保年金係長 加藤 智也
国保年金係 主事 仙田 春樹

5 議題

- 1 国民健康保険税の改正について
 - ・ 基礎課税額(税率)の検証について
 - ・ 課税限度額の引き上げについて
- 2 今後の対策について
 - ・ 低所得者に対する知立市の独自軽減について

6 報告事項

- 1 令和3年度国民健康保険事業決算額について
- 2 令和4年度国民健康保険税の課税状況について

7 概要

議題1 国民健康保険税の改正について

(1) 基礎課税額(税率)の検証について

県への事業納付金としての支出と保険税収入に乖離があるため、を保険税等の引上げの必要性について検討したい。

【主な意見・質疑応答】

委員	基金を活用して引上げを抑えることはできないか。
事務局	直近3年間は基金の活用により引上げを抑えることができていましたが、令和6年には基金が尽きる見込みであるため、段階的な引上げを検討しております。

(2) 課税限度額の引上げ時期について

国の法改正にあわせて課税限度額の引上げを行うため、今年度中に法改正があれば協議会にて報告し、即時適用をしたい。

【主な意見・質疑応答】

	委員	国の法改正はいつ公表されるか。
	事務局	例年通りであれば、令和5年2月、3月ごろの公表になると思われます。

議題2 低所得者に対する知立市の独自軽減について

平成26年度に資産割が廃止され、廃止分の税収を補填するため、所得割税率、均等割、平等割が引き上げられた。低所得者の負担増を抑えるため激変緩和措置として法定軽減分に加え、市独自で均等割をさらに1割軽減する独自軽減を実施してきたが、適用から10年となる令和5年度を目途として廃止を検討したい。

【主な意見・質疑応答】

	委員	対象者にはどのぐらいの軽減が適用されているか。
	事務局	一人あたりでは最大3,500円の軽減が適用されています。

報告事項1 令和3年度国民健康保険事業決算額について

令和3年度は歳入が5,126,519,000円。歳出は5,081,082,000円で、差引45,437,000円の繰越となるが、前年度の繰越分等を差し引いた実質単年度収支は192,680,000円の赤字となる。

【主な意見・質疑応答】

	委員	一般会計からの繰り入れを解消するようにと国から通知されていたが現状は。
	事務局	赤字については基金からの取り崩しで補填しており、赤字解消を目的とした繰り入れは行っておりません。

	委 員	収支赤字の原因は。
	事務局	被保険者の減少および、被保険者の収入減少に伴う収入減少が原因と考えております。
	委 員	収納率はどうか。
	事務局	令和2年は92.67%、3年は93.75%と上がっており、令和4年度もさらに向上する見込みです。

報告事項2 令和4年度国民健康保険税の課税状況について

令和4年度本算定時の調定額は1,120,779,800円で、令和3年度と比べて25,376,300円の減額となる。収納率は算定できていないが、前年度より上がる見込みである。

※訂正が必要と思われる箇所について、特に意見等はなし。